

第九談

# 会館寄席



日新亭史註

紫紺亭圓夢

琴音家甘魚

目白亭愛狂

墨亭河童

令和2年9月19日(土)

旗揚げ11年目

山梨落語研究会

- ❁ 開場13時30分／開演14時
- ❁ ところ：甲府市総合市民会館  
1階 芸術ホール
- ❁ 水戸銭：500円(全席自由・税込)  
(入場料)
- ❁ 問合せ：甲府市総合市民会館  
☎055-231-1951  
〒400-0867 甲府市書沼3-5-44

結成は2008年12月。圓夢が色々なツテを頼りにオチケン(落語研究会)経験者に声をかけた結果10人のオチケンOBが集まり、翌2009年9月21日甲府桜座で旗揚げ公演。2019年9月に行われた旗揚げ公演10周年記念「会館寄席第7談」はチケット完売の満員御礼。そして今回1年ぶりの会館寄席となる。

各自治体での文化イベントや福祉施設への慰問・企業研修や同窓会・個人の祝いの会など各方面からオファーが相次ぎ、年間の高座は100回を超える。

甲府市総合市民会館や県立図書館、文学館などの公立施設での会を柱に各メンバーが活躍中！

## 出演者

### 紫紺亭圓夢 (しこんていえんむ)

明治大学落語研究会OB。山梨落語研究会代表。  
学生時代は後輩である三宅裕司・立川志の輔らと全国の施設を慰問。長男【万年堂あにき】との親子会も好評。共同通信社発行の週刊誌・KyodoWeeklyに月1でコラムを連載中。  
落語人生50年を迎えた前回の「会館寄席」では写真集も販売し、今後の益々の活躍が楽しみ。



### 琴音家甘魚 (ことねやかんぎよ)

生まれも育ちも山梨県。山梨落語研究会の紅一点！生粋の甲州弁スピーカー。  
3年前から山梨落語研究会の追っかけを始め、寝ても覚めても落語のことで頭がいっぱい。  
とうとう自分も高座に上がることに。落語は他のメンバーにお任せして私はイロモノの道を。  
将来は山梨に演芸ホールを建てて席亭になるのが夢。趣味は寄席通いと着物集め。



### 日新亭史註 (にっしんていしちゅう)

上野原市在住。山梨大学で落語研究会に所属。  
今は無き県民会館前のスクランブル交差点の真ん中に座り、小咄をしたのは良い思い出。  
卒業後、落語とは縁のない生活をしていたが、ふとしたきっかけで山梨落語研究会に拾われる。  
高座でおしゃべりするのは世を忍ぶ仮の姿。本業は某高校の日本史の先生。



### 目白亭愛狂 (めびろていあいきょう)

学習院落語研究会OB。落研時代より人間国宝だった故柳家小さん師匠とその弟子達に指導を仰ぐ。社会人となり、TBS「素人寄席」に合格・出演し故桂文楽師匠におほめをいただく。  
三味線の端唄を愛し、落語のみならず三味線も披露。様々な会で好評を得ている。



### 墨亭河童 (ぼくていかっば)

東京都出身。都立墨田川高校落語研究会で落語を始める。  
山梨に住んで40年まであと少し。再び人前で落語を演じることはないだろうと思っていたが、縁あって山梨落語研究会の旗揚げから参加し、新たな仲間との活動を楽しんでいる。  
「日本笑い学会」の会員でもあり、笑いについて様々な角度から学びたいと考えている。  
一度は耳にしたことのあるこの美声。テレビのナレーターとしても活躍中。

- 一、落語 紫紺亭圓夢
- 二、大衆音楽 琴音家甘魚
- 三、落語 日新亭史註
- 四、コント 圓夢・甘魚
- 仲入り —
- 五、粹曲 目白亭愛狂
- 六、落語 墨亭河童



令和 9月19日 (土)  
2年

- ◆ 開場13時30分 / 開演14時
- ◆ 甲府市総合市民会館 芸術ホール

お問合せ・チケットの購入は

甲府市総合市民会館

☎055-231-1951

入場料  
500円



山梨落語研究会のブログはこちら

山梨落語研究会 <http://blog.livedoor.jp/kangyo3319>

